

桐生*ぶらり*たび

昭和九年に創業し、古くからの味を大切にしているパン屋です。オーストリアはアイスまんじゅうとシベリアだそうです。シベリアというのにはカステラのようなかんがはさんである和菓子です。アイスまんじゅうは昭和二十年ごろに発売されました。今の店長は三代目ですが、一代目の味を大切に作って、味をかえずに作ってきました。

このお店の名前をつけただのは、一代目の店長さんです。その当時はひらがなの「しろうじ」だ。たそがえです。なぜカタカナになつたのかはわからないうです。アイスまんじゅうは、アイスなので夏によく売れます。冬もよく売れるので、ファンが多いことがよくわかります。

アイスまんじゅうは、

シロフシ製パン所は、



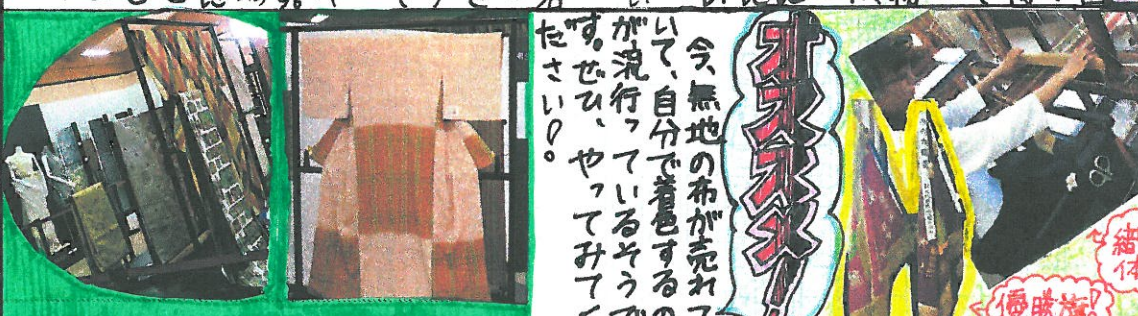
コンビニでも売っているのを食べてください。おいしく食べよう。

桐生織物記念館は、国登録有形文化財になっており、とても有名な建物です。桐生織をあげており、一階では桐生織の歴史、二階では織物や織物資料、織物の展示を行っています。

桐生織は、必ず二年に二回は全国のイベントに出品し約五十年続けています。昭和三十三年には、優勝し、優勝旗をもらいました。

今では、全国的にも有名で、西の西陣東の桐生と言われ京都と二位を争っています。去年の売り上げ額は六十億にもなりました。

桐生織物記念館は、

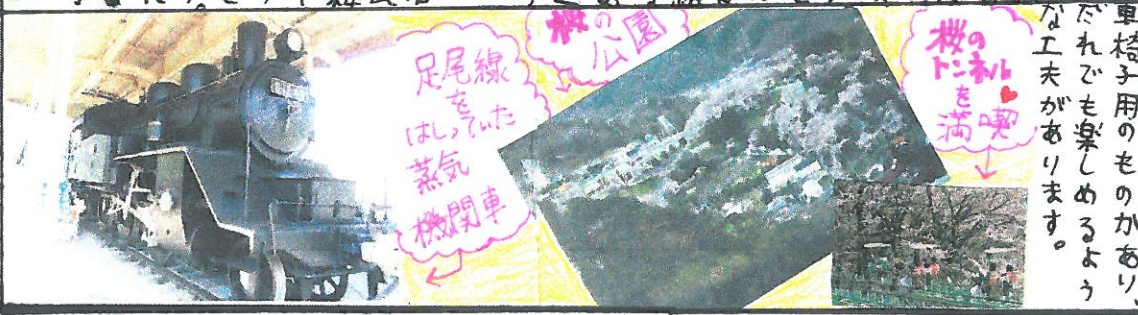


人が訪れ、その中には外国人や県外の人もふくまれています。織物体験中。

桐生織物記念館は、市民がらしてもまきえられてこのまでの歴史があり、去年の来場者数は、百万人を超え、百万六千三百五十九人だそうです。その中の一番人気の乗っ物はミニレールだそうです。ただれにでも乗れ、とちゅうにあるトンネルでは、白いものが光るといっておもしろい仕組みがあります。みんかに愛され、当初からある乗り物で、今のミニレールは三代目だそうです。

桐生が岡遊園地は、祥の名所として有名な所で、四百三十本も植えられています。一番の桜スポットは、春にサイクルモノレールに乗りながら様のトンネルをくぐるのだそうです。また、天気が良ければ観覧車から、桜十景を山ヤスカイリリーが見えるそうです。

桐生が岡遊園地では、



パリアフリーに力を入れていて、観覧車には、車椅子の人でも利用できるように2基も車椅子用のものがあり、スタッフがいます。